

規定されたほか、従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源であるコミュニティバス・デマンドバス・福祉バス・スクールバスなどを総動員して、地域の移動手段を確保・対応できるように位置づけられております。

一方で、本町の地域公共交通の現状は、相次ぐJRや路線バスの減便、老人福祉バス・スクールバス事業の費用増大、北海道新幹線長万部駅関連工事に伴う中央跨線橋撤去時の代替手段検討や、新幹線開業に合わせた二次交通のあり方などの課題が山積している現状を踏まえ、関係者で構成する地域交通活性化協議会を立ち上げ、交通事業者間の調整を行い、まちづくり総合計画等と整合が図られた持続可能な公共交通ネットワークを一体的に形成することを目的として、「長万部町地域公共交通計画」を令和3年度より2力年で策定作業に取り組み始めてまいります。

本事業につきましては、関連予算を本定例会での新年度当初予算に提案いたしております。



長万部都市計画マスタープラン関係

本町では、平成16年度に長万部都市計画マスタープランを策定し、このまちづくりの基本方針に基づいて都市計画決定をしているところであり、現在の都市計画マスタープランは、平成16年度から令和6年度までの20年間で計画期間としておりますが、当町の行政区域を含めた北海道の区域マスタープランが今月下旬に見直しされるのを踏まえて、昨年度から「長万部都市計画マスタープラン」の見直し作業を進めているところであります。

本来であれば、昨年春頃の策定を想定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、北海道との協議に遅れが出たり、1月に予定していた意見を募集する公聴会を感染症予防対策のために中止し、替わりに用途地域内の町内会役員に説明し、意見募集を伺うなど一部作業に変更がございましたが、今月中を目途に新たなマスタープランを策定し、これに基づく都市計画決定に向けて関係する準備作業を進めてまいります。

また、都市機能の集約と公

共交通の充実等による持続可能なまちづくりを目指して、将来の新幹線長万部駅を中心に都市機能を集約し、居住を誘導する区域を定める「長万部町立地適正化計画」につきまして、本年中に策定するよう作業を進めているところであります。

並びに、昨年度より検討作業を進めてきたバリアフリー移動円滑化促進区域を定めた「移動円滑化促進方針」につきましても、今月中の策定を目指して作業を進めております。

北海道新幹線工事関係

新幹線の地上部である明かり区間につきましては、現在、町内ほぼすべての区間で測量調査や新幹線と交差する道路や河川などの支障移転や付け替え協議が行われております

が、現在、線路に分断された長万部市街地の東西を結ぶ中央跨線橋について、当初は、新幹線開業時点までの利用を想定して補修の準備を進めてまいりましたが、その後、中央跨線橋が新幹線高架橋の直接支障となる旨の協議を受け、令和5年度には除却し、予定地を明け渡す必要が生じたこ

とから、検討の結果、橋梁の撤去工事の準備のため、令和4年3月31日をもって、中央跨線橋を通行止めにする事といたしました。

替わりとなる歩道橋につきましては、現在の長万部駅舎の位置から線路をまたいで西側に建設が予定されている新幹線長万部駅を連絡し、東西市街地を結ぶ自由通路の建設を計画し、自由通路の基本設計業務に係る予算を、本定例会の新年度予算に計上しているところであり、現時点では令和9年度末の完成を目指して協議を進めているところであります。

中央跨線橋通行止めから自由通路完成までは約6年間の期間があり、利用者の皆様には、大変ご不便をおかけしますが、迂回路として元町の踏切、又は、ふれあい大橋をご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今後、用地買収や支障物件の移転など、市街地部分を含めた協議が本格化していくことが想定されますが、町といたしましては、新幹線工事に伴い、町民の皆様の生活にできる限り支障が生じないように最大限に配慮するとともに、事業が円滑に推進できるように、建設主体である鉄道・運輸機構との連携を密にしてお応じ

てまいります。

地域おこし協力隊

平成30年度に農業支援員として採用した協力隊員につきましては、令和2年度からは本人の意向も踏まえ、町内で飲食のサービス業で独立開業を目指し、空き店舗を利用して店舗改修工事などの支援を行ってきたところであり、現在すべての準備が整い、4月からは協力隊員を卒業し、店舗名を「炭火焼き鳥まっちゃん」として、大町で独立開業することとなりました。地域おこし協力隊卒業生として移住・定住する見込みとなることは大変喜ばしいことであり、協力隊員本人の努力と決断に心から敬意を表するとともに、隊員本人並びに協力隊の活動にご協力いただいた多くの町民の皆様から感謝を申し上げます。

令和2年度は、新たに地域文化推進員1名、提案型地域おこし協力隊員1名を採用したところであり、地域文化推進員につきましては、学習文化センターを拠点として、図書館司書の資格取得や、先月まで開催していた「大鉄道写真展」などの地域の文化活動